生徒の皆さんへ校長メッセージ　５月３０日（火）　No.３

【生徒会スローガン】

Over the Horizon ～新たな景色へ～

言葉は癒（い）やしの毛布にも、逆に人を傷つける刃にもなります。

「行く言葉が美しければ、来る言葉も美しい」
韓国のことわざ

生徒玄関に掲げられている５月の言葉は「話顔愛語（わげんあいご）」でした。皆さん、この一か月意識しましたか。お金をかけなくても、自分の身一つで多くの人を、仲間を幸せで、いい気分にさせることができる魔法の言動です。私自身、できなかった時があり、反省しています。皆さんはどうでしたか。

さて、皆さんは、普段どんな言葉遣いをしていますか。丁寧で、優しい言葉遣いは、聞く人を安心させますが、荒い言葉、きつい言葉は、直接言われていなくても、そばで聞いていてもいやな気持ちにさせますね。それが、直接言われた当人であれば、もっと辛くかなしい気持ちになることでしょう。

韓国のことわざ「行く言葉が美しければ、来る言葉も美しい」にあるように、本当にそうだと思います。

下の言葉は、北原白秋作とか不明とか諸説ありますが、考えさせられます。

教室に掲示されている学級もありますね。

一つの言葉
（作者不詳）

一つの言葉で
けんかして、
一つの言葉で
仲直り。
一つの言葉で
頭が下がり、
一つの言葉で
笑い合い、
一つの言葉で
泣かされる。
一つの言葉は
それぞれに、
一つの心を
もっている。
きれいな言葉は
きれいな心、
優しい言葉は
優しい心。
一つの言葉を
大切に、
一つの言葉を
美しく。

裏面に続く

郷土のオリンピアン「石川佳純選手」引退

皆さんも知っているように、５月１日（月）郷土の卓球におけるオリンピアン石川佳純選手が現役引退を発表し、１８日（木）に記者会見が行われました。

石川選手と言えば、小学校１年生で競技を始め、１４歳で当時では史上最年少で、オリンピック日本代表に入り、2012 年のロンドン五輪女子団体で日本初となる銀メダルを獲得すると、2016 年リオ五輪では団体銅メダル、2021 年の東京五輪でも団体銀メダルと、3 大会連続でメダルを獲得するなど日本女子卓球界を文字通り２０数年にわたりけん引されました。

想像を絶する努力や苦労、そして試練の連続だったことと思います。

私は、ある中学校の校長だったとき、全校生徒を前にして、体育館のステージで石川選手ともう一人その学校の先生の３人で、お話を伺ったことがあります。**礼儀正しさ、人への気配り、明瞭な受け答えに、さすがだなと感動したことや、絶対に諦めない芯の強さ、挑戦し続ける気概、努力を惜しまない向上心に石川選手の強さの秘訣を感じました。**その後、ステージ上で生徒たちと練習を少ししてもらいましたが、サーブの正確さ、ドライブの切れ味は目を見張るものがありました。

「努力なら誰でもする、努力の上に辛抱という棒を立てないと花は咲かない」とも言われますが、皆さんも自分を鍛え磨き、今以上立派な自分をつくっていきましょう。

トイレには神様がいる

ある３年生の男子が、トイレ掃除を真剣にしている姿を見て、感動しましたし、右の歌を思い出すとともに、きっといいことが訪れるだろうと思いました。

かなり昔に流行った歌です。

皆さんの中にも知っている人がいることでしょう。

汚い場所を、一生懸命きれいにしようとするその心こそ、美しいと思います。

トイレの神様　植村花菜

トイレには
それはそれはきれいな女神様がいるんやで
だから毎日きれいにしたら
女神様みたいにべっぴんになれるんやで
（一部抜粋）

心を育み、脳を活性化する読書

Ｇ７サミットが広島で開催されました。日本は議長国として岸田首相がイニシアチブを執って共同宣言も発せられました。日本を訪れた各国の首相等が原爆資料館を訪問した、コメントが某新聞に掲載されてもいました。大きな衝撃とともに、平和維持の大切さ、戦争を起こしてはいけないし、核の使用も絶対にしてはならないと感じられたことと思います。

下の本は、是非読んでみるとよいと思います。学校図書館にあります。

『知らなかった僕らの戦争』　アーサービナード　著　小学館

実際に戦争に何らかの形で関わった人に直接インタビューした内容が、インタビューを行った人ごとに記述されています。小説とは異なり、生の感情や思いが言葉に現れていて、戦争のむごさを強く感じます。小説とは異なった、当然ですがリアルな、身近な感じがして戦争は絶対にいけないと思いました。また、自分が知っている事実の解釈の違いにも驚きました。